

大会名称: **第73回国民体育大会 バasketボール競技会**
(福井しあわせ元気国体2018 バasketボール競技会)

開催場所: 永平寺緑の村ふれあいセンター Aコート

試合区分: No. 6 成年男子 準々決勝

期 日: 2018(H30)年10月2日(火)

主審: 堀内 純(愛媛県)

開始時間: 11:55

副審: 辻崎 紀晶(福井県)

終了時間: 13:25



長野 (北信越)	○ 91	20 — 20 24 — 13 22 — 15 25 — 19 — — —	● 67	鹿児島 (九州)
------------------------	----------------	---	----------------	------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	三澤 賢	24	4	6	0	2	0	2
5		荒木 志勇人	0	0	0	0	0	0	0
6		池田 哲也	0	0	0	0	2	0	0
7		務臺 達之	2	0	1	0	3	2	1
8	*	養田 達也	13	0	6	1	2	4	5
9		松本 陵雅	3	0	1	1	2	1	0
10		中村 建太	0	0	0	0	1	0	0
11	*	白井 周平	2	0	1	0	4	10	5
12	*	垂見 海舟	2	0	1	0	1	12	5
13		林 瑛司	25	4	4	5	0	4	2
14	*	岩垂 佑貴	20	5	2	1	2	2	1
15		五十嵐 鷹	0	0	0	0	1	0	0
HC		原田 将史 / TEAM					-		
		合計	91	13	22	8	20	35	21

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		黒木 晟	0	0	0	0	0	1	0
5	*	山田 安斗夢	3	0	1	1	3	4	4
6		久保田 和貴	0	0	0	0	0	2	0
7		林 亮太	0	0	0	0	0	0	0
8	*	玉田 博人	6	0	3	0	3	4	1
9		稲盛 綱城	12	4	0	0	2	1	0
10	*	福田 惟吹	14	0	6	2	0	2	2
11		川上 貴一	8	0	1	6	2	7	1
12		西堂 雅彦	3	1	0	0	1	7	0
13	*	松崎 圭介	3	1	0	0	4	7	0
14	*	中深迫 諒太	15	0	4	7	0	3	1
15		館山 健太	3	1	0	0	2	2	1
HC		宮迫 崇文 / TEAM					-		
		合計	67	7	15	16	17	40	10

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

準決勝進出をかけた2回戦、鹿児島対長野。両チームともにマンツーマンディフェンスで入る。第1ピリオド、鹿児島は#10のドライブイン、#9の3Pシュートで得点を重ねていく。対する長野は、ブレイクから#4、#14のアウトサイドシュートを中心に得点を重ね、両チーム譲らないまま、20-20で終了。

第2ピリオド、鹿児島は長野のディフェンスを崩せず、流れをつかむことができない。長野はリバウンドからブレイクの速い展開から#8の連続2Pや#4の連続3Pで鹿児島を突き放し、33-44で前半終了。

第3ピリオド、追いつきたい鹿児島は#15の3Pシュートをはじめ#11のフリースローなどで得点を重ねていくが、リバウンドを取ることができず、オフェンスに流れを持ってこられない。長野は厳しいディフェンスからリバウンドを取らせず速いオフェンスを展開。#13のカットインからバスケットカウントをもらいさらに勢いづき48-66で終了。

第4ピリオド、鹿児島は#10を中心に長野に迫るがリバウンドを取ることができず無得点の時間が続いてしまう。長野は#13、#14の3Pシュートで得点を重ね、試合を決定付ける。最後まであきらめない鹿児島は#8、#14の2Pやフリースローなどで点差を縮めていくが、67-91で試合終了。

インサイドで制するディフェンスとファストブレイクで素晴らしいバスケットを展開した長野が勝者だが、最後まで闘い抜いた鹿児島も素晴らしいチームであった。

担当者: 荒川 真臣((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

